

ここが問題！リニア新幹線 2013. 4. 6

リニア新幹線NEWS No. 6 / リニア新幹線を考える東京・神奈川連絡会発行
Think-linear2@yahogroups.jp

甲府市で、結成後初の沿線住民ネット運営委員会開催

リニア計画凍結求め活動を強化



(3月23日、山梨県甲府市で行われた第1回運営委員会、6団体からとオブザーバーが参加)

2月10日結成されたリニア新幹線沿線住民ネットワークの第1回運営委員会が、3月23日午後、甲府市の「みどり山梨」の事務所で行われました。沿線6団体から運営委員10人が参加し、JR東海が正式ルートや中間駅、車両基地、立坑などの立地場所を明らかにする準備書を出す予定の秋までの統一行動について協議しました。初めに、ネットワークの規約を正式決定し、2.10集会の結成宣言の一部を修正しました。そして、各団体は4月中にJR東海に対し、各地で改めて説明会を開催するよう求め、6月に院内集会、7月に岐阜で大規模なりニア・シンポジウムを開催する方針を決定しました。6月の院内集会は「リニアデー」として、国交省交渉も組み込む予定です。また、沿線各団体は、地元選出の国会議員、地方議員に対し、リニア問題について統一したアンケート調査に取り組むことも決めました。

ホームページを開設します

URL <http://web-asao.jp/hp/linear>

4月8日(月)スタート、みんなの力でリニア問題を全国に発信しましょう！

川崎市議会へ陳情書提出（2013年3月13日）

「議会は、JR東海に説明会を開催させるよう市当局を督促して！」

川崎市議会議員 大島 明様

リニア新幹線を考える東京・神奈川連絡会
麻生の会、宮前の会、中原・高津の会

リニア中央新幹線に関する説明会開催促進の陳情書

<陳情要旨>リニア中央新幹線計画の川崎市内の建設計画について、市民は生活への影響や工事に関して大きな不安を持っています。建設主体のJR東海旅客鉄道株式会社は一昨秋以降、川崎市民への説明会を開いていません。つきましては、川崎市議会が市民の代表者として、市当局に対し、JR東海旅客鉄道株式会社が早急に市民への具体的な説明の機会を設け、現状での情報公開を行わせることを強く働きかけるよう求め、尽力されることを陳情します。

<理由>

- ご承知のように、JR東海旅客鉄道株式会社（以下JR東海）が事業主体となって建設される予定のリニア中央新幹線は、川崎市内の中原区、高津区、宮前区、多摩区、麻生区の5区を計20キロにわたって、地下40メートルの大深度トンネルを通過するとされています。また5～10キロおきに直径30メートルの立坑が掘られます。工事中はトンネル工事の器機搬入口、残土の排出口として、また完成時は乗客の避難口や換気塔として使用されます。JR東海は、現在3キロ幅で想定されている走行ルートや立坑の具体的な位置を明らかにしていません。私たち市民の「JR東海に沿線各区の市民に対し説明会を開かせよ」という再三の申し入れに対し、リニア担当の市まちづくり局は「JR東海に市民の要請を伝えているが、回答がない」と答えています。
- リニア中央新幹線計画については、一昨年8月の公表後、JR東海により、走行ルートに関係する5区の住民に対する説明会が開かれました。その後、計画の概要書である「環境影響評価配慮書」に対する意見募集（パブリック・コメント）が行われました。市民から多くの意見が寄せられ、ほとんどが「500キロの速度で走って、事故の危険はないのか」、「電力はどうまかなうのか」、「電磁波の影響が心配だ」、「少子高齢化の社会で採算がとれないのでは」、「立坑工事で騒音や振動や自然への影響があるのでは」など、疑問と不安の声でした。一昨年12月から昨年1月にかけて行われた環境影響評価審議会でも、会長自ら「方法書は意見募集で寄せられた市民の声を反映していない」と指摘しました。さらに、アセスメント終了後の市長意見や知事意見では、「方法書は環境影響評価が及ぶ対象や地域が不確定であり、方法書の段階で審議すべき事項について、検討が十分できていない」として、「本事業における運行本数、電力供給、路線位置、立坑及び作業内容等の具体的な計画等は、本来の方法書で明らかにすべき」とJR東海に対し、準備書を待たずに具体的な内容を明らかにするよう求めました（2012年1月25日付市長意見書）。
- 私たち市民有志は、一昨秋以降、JR東海からも市当局からも、市内のリニア建設について具体的な説明を受けていません。この間、2012年1月、5月、10月と3回にわたり、JR東海に説明会を開催させること、あるいは市独自に住民に現状を報告する機会を設けるよう市当局に要請してきました。結局、回答は「皆さんの要望はJR東海に伝える」ということだけで、私たちが要望する説明会の機会は全く実現されませんでした。
- 市当局は、市民の安全、安心な生活を最大限に尊重し、不安や疑問を訴える市民の切実な声に応えるべきです。（中略）市当局にはJR東海のいいなりにならず、市民に寄り添う立場に立って、リニア中央新幹線に関しイニシアチブを発揮し、JR東海に対し説明会開催を求める責務があると考えます。

以上

二つの脱原発集会でリニア凍結署名430集約

つながろうフクシマ！さようなら原発大集会



福島第一原発事故から2周年を前に、3月9日午前11時から東京・明治公園で、「つながろうフクシマ！さようなら原発大集会」が開かれ、全国から1万5千人が参加しました。呼びかけ人の一人広瀬 隆さんは「原発を再稼働させる方がお金がかかることをマスコミはきちんと伝えてほしい」と訴えました。福島から京都に避難している斉藤夕香さんは「私たちのことを忘れずつながってください」と述べました。東京・神奈川連絡会は参加団体のブースの一角を借りてチラシを配布、また会員が会場内でリニア凍結署名活動を行い200筆を集めました。集会後、参加者とともに「リニア東京・神奈川連絡会」と「リニア沿線住民ネット」の旗を掲げて、会場から渋谷までデモ行進しました。

原発ゼロへのCountdown in かわさき



3月10日午前11時から、川崎市中原区の中原平和公園で、「原発ゼロへのCountdown in かわさき」が開かれました。昨年に続いて2回目。強風で黄色の砂塵が舞うという悪天候の中、1400人が参加しました。ステージでは実行委員会を代表して脱原発かわさき市民の川口洋一さんが挨拶。そのあとゲストの城南信金・吉原毅理事長が脱原発を進める金融機関の努力と支持の拡大を報告、大間原発（青森県大間町）の予定地で土地を守り続ける「あさこはうす」の小笠原厚子さんが政府や電力会社との闘いを熱く語りました。リニア東京・神奈川連絡会はブースを確保し、川崎市内のリニアルート図や山梨実験線の視察報告を展示、天野共同代表がステージで、リニア新幹線の危険性や問題点を訴えました。この集会でチラシ配布と署名活動を行い、署名230筆を集めました。参加者は午後2時半から、公園を出発、元住吉のプレーメン通りなどを通りJR武蔵小杉駅周辺までデモ行進をしました。

3. 11 福島集会でリニア問題をアピール

リニア関連・参考書籍紹介



福島原発事故から2年目の3月11日、私は福島市の県教育会館で開かれた「反原発福島行動'13」に参加しました。朝早く、横浜の震災がれきの問題で活動する仲間とマイクロバスで出発、5時間かけて福島に到着。会場前でリニア新幹線について、465枚のチラシを配布し、署名60を集めました。県民以外にも東京や北海道、関西などから参加した人たちも「リニアはいらないよね」と、チラシを受け取り署名してくれました。原発もリニアも要らないという思いを強くしました。集会には1300人が参加会場から福島市内をデモ行進し、充実した一日となりました。協力していただいたみなさんに感謝しています。

(運営委員・伊藤貴徳)

.....

JR東海が新幹線改修計画を発表

JR東海の山田佳臣社長が3月の記者会見で、今後10年間、東海道新幹線の老朽化対策として、橋梁などの補強、改修工事を実施することを明らかにしました。発生が心配される東南海地震に対し、安全対策を強化し、新幹線の寿命を30年程延ばすという考えです。改修費は2023年までの10年間で7300億円程度とみられる。新しい技術を使い、新幹線を止めないで工事するということが新幹線の収益に頼るJR東海の場合当たりの対策では？

.....

会員を拡大しましょう！

会費は年間千円です。振込は下記へ

郵便振替口座記号番号 00120-3-489093

口座名 リニア新幹線を考える東京・神奈川連絡会

=====

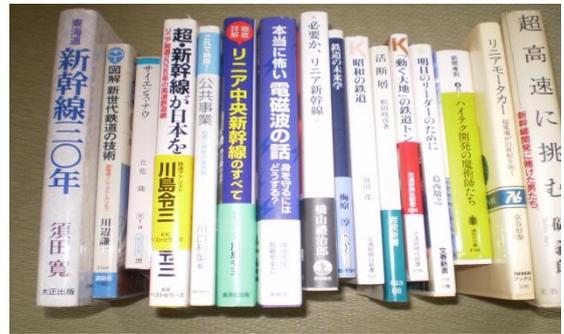
ここが問題！リニア新幹線～NEWS No. 6

発行：リニア新幹線を考える東京・神奈川連絡会

発行責任者：天野捷一 044-866-5785

懸樋哲夫 042-565-7478

=====



リニア実験線での走行停止やJR東海の情報開示が無い、鉄道雑誌でのリニア関連特集はほとんどありません。書籍では何冊が出ていますので、参考になるものをご紹介します。

<研究者によるもの>

■「必要か、リニア新幹線」橋山禮治郎著

2011年、岩波書店

■「活断層」松田時彦著

1995年、岩波新書

■「公共事業」川口和英著

2009年、ぎょうせい

<ジャーナリスト、ライターによるもの>

■「サイエンス・ナウ」立花隆著

1996年、朝日新聞社

■「超高速に挑む」碓義朗著

1993年、文藝春秋

■「超・新幹線が日本を変える」川島令三著

2008年、KKベストセラーズ

■「図解・新世代鉄道の技術」川辺謙一著

2009年、講談社ブルーバックス

■「リニア中央新幹線のすべて」川島令三著

2012年、廣済堂出版

■「動く大地の鉄道トンネル」峯崎淳著

2011年、交通新聞社

■「鉄道の未来学」梅原淳著

2011年、角川書店

■「本当に怖い電磁波の話」植田武智、加藤やすこ著

2012年、金曜日

<技術者が書いたもの>

■「ハイテク技術の魔術師たち」前間孝則著

1994年、講談社

■「リニアモーターカー」京谷好泰著

1990年、NHKブックス